

カリフォルニアの夏はすべてが青春だった

ママス&パパスの大ヒット曲「夢のカリフォルニア」(歌・アメリカ)はじめカリフォルニアサウンド全11曲ノ・ビクターレコード



# California Dreaming

その時  
それが青春だなんて  
誰れも気がつかないのさ

## カリフォルニア ドリーミング

テニス・クリストファー  
グリニス・オコーナー  
サイモア・カッセル  
ネッド・ウイーン / ジョン・カルビン  
ドロシー・トリストラン / タニア・ロバーツ

製作総指揮 ルイス・S・アーコフ  
製作 クリス・ウイティカー  
監督 ジョン・ハンコック  
撮影 ボビー・ビルン / 音楽 フレッド・カーリン  
原案・脚本 ネッド・ウイーン (原作・ヘラルド出版刊)

カラー作品 (アメリカ映画)

松竹・富士映画共同配給

California  
DREAMING

# カリフォルニア ドリーミング

カラー作品/アメリカ映画



### ＜スタッフ＞

製作・指揮……ルイス・S・アーコフ  
製作……クリス・ウィティカー  
監督……ジョン・ハンコック  
脚本……ネッド・ウィーレン  
撮影……ボビー・ビルン  
音楽……フレッド・カーリン  
(サントラ盤) ピクター・レコード

### ＜キャスト＞

T. T……デニス・クリストファー  
コーキー……グリニス・オコーナー  
デューク……サイモア・カッセル  
フェイ……ドロシー・トリストアン  
アール……ネッド・ウィー

タイトリズム、しびれるサウンドが  
君の心をゆり動かす

主題曲「夢のカリフォルニア」は、ポップスのエバー・グリーンともいえるママス&パパスの大ヒット曲。これを歌うのが「名前のない馬」やレナウンのCMソング「シンプルライフ」の「アメリカ」。その他にも、バートン・カミングス、ミシェル・フィリップスらが全篇にわたって、ゴケゲンなカリフォルニア・サウンドをくり広げる。おまけに、ボズ・スキヤッグス等のレコードでお馴染みのフレッド・タケットらがバック・ミュージシャンとくれば音楽ファンは絶対に見逃せない。

監督は、アメリカ映画の新世界を代表するジョン・ハンコック。「ジョーズ」の演出をケツたことでも有名。主演のTTにはデニス・クリストファー。アメリカ映画の鬼オロバート・アルトマンに注目され、「三人の女」「ウェディング」に出演。いまもっとも注目の新人スターである。コーキーには、「ジェレミー」でデビュー以来、数々の青春映画に出演。「プラスチックの中の青春」でジョン・トラボルタの恋人役を演じ、最近作「リトル・モ어」で人気急上昇中のグリニス・オコーナー。この映画では、ノビノビとした肢体をいかに発揮、スガスガしいカリフォルニア・ガールを熱演している。

青春のみずみずしさ、はかなさ、愚かさが  
みなぎった現代の青春映画の傑作——！

シカゴからやってきたTT (デニス・クリス

トファー)は、憧れのカリフォルニアに着いた感激でいっぱいだった。アテなどないけど大丈夫。浜に降りたTTの前で、サーファーたちの赤や青のステインガーが、巨大な波のアーチを切り抜ける白い飛沫とともに滑りおちる。ああカリフォルニア！

ふとしたきっかけでTTは、このビーチでスナックを営むデュークの店に暮らすことになる。そこで彼の娘コーキー(グリニス・オコーナー)に出逢う。TTはビキニが似合うナウなこのカリフォルニア・ガールに一目惚れだ。だが彼女の方は、どこか田舎っぽく、アイビー・リガーを決めこんで、イキがっついていてもズレている奇妙なTTに目もくれない。TTのカリフォルニアでの生活が始まった。最初のうちは誰もTTを相手にしなかった皆んなも、話をしているうちに、ナイーブなほど純真なTTに好感をもつてくる。コーキーもその一人だ。

ある日TTは、浜辺でコーキーに飛びかかり抱きつこうとするが、ドジにも反対にねじふせられてしまう。でもこの事が幸いし、その夜フテているTTにコーキーの方からやさしい言葉をかけ彼を誘う。

まるでむしやぶりつくように抱きつきキスをするTTの愛撫はきこえない。コーキーもまた荒々しく下着の中に手を忍ばせるTTに、やさしさよりも不快を感じ彼の体を離す。TTは思わず手を合わせて祈る。  
「神様！どうか彼女のブラをうまくはずせませすように、お願いします！」

カリフォルニアの太陽はサンサンと輝き  
波は喜びの声をあげて打ち寄せる。

全世界の若者たちの憧れの地、カリフォルニア。いまや若者文化のすべてがここから生まれるといっても過言ではない。サーフィン、ビーチバレーをはじめ、ファッション、ミュージックに至るまで、流行の先端を行っている太陽と白砂の地。このカリフォルニアのライフ・スタイルをすべて網羅した待望のフィルムが、この作品だ。ここには若者たちの青春が生きている。恋、友情、初体験。誰もが一度は経験する青春の一ページ……。

この作品こそ、79夏、青春まったただ中の若者たちに贈る青春映画の傑作だ！



近日話題のロードショー

国電東口前吉祥寺シネマビル5F  
吉祥寺セントラル  
0422(48)6521